

学会便り 第144回春期大会報告

## 第44回「若手の会」および「若手育成のための合同会合」 Meeting report on “the 44th Youth meeting” and “Associated meeting for youth development”

清水 裕太  
Yuta SHIMIZU

### 1. 若手の会 第44回会合

第144回春期大会は現地・オンラインのハイブリッド開催となり、今回若手の会第44回会合もハイブリッド開催とした。会合は3日目の昼食時間帯（2023年5月14日（日）、12:10～13:10）に、現地では全員前向きの席配置でお弁当を黙食し、オンライン（Zoom）では各自で昼食を準備し、その後話題提供の講演を行う形式とした。現地とオンラインあわせて、大学2名、学生9名、企業18名の参加があった。

今回は、日本軽金属株式会社の繁光さんより話題提供をいただいた（図1）。まず、会社での仕事、休日の過ごし方などを紹介していただいた。また香川県ご出身とのことで、香川県の豆知識や名所についてのお話があった。香川県の面積が大阪府に追い抜かれて日本一小さい県になった経緯などが印象的であった。うどんについても熱く語っていただき、帰りにうどんをもう一杯食べて帰りたくなった方も多かったのではないだろうか。

講演会ならびにその後の活発な質疑を通じて、若手同士の親睦を深めることができた。最後に、現地ならびにオンライン会場の準備や当日のサポートに尽力いただいた軽金属学会第144回大会実行委員の皆様、香川大学の皆様にこの場を借り厚く御礼申し上げます。

### 2. 若手育成のための合同会合

大会初日の5月12日（金）の19:00～21:00に、若手育成のための合同会合を開催した。会合は讃岐びかでり屋において現地開催した。今回は、大学1名、学生3名、企業5名のあわせて計9名が参加した（図2）。

合同会合では、香川県の名物である骨付鳥を楽しみながら、研究内容や仕事の話だけでなく、趣味やサークル活動についての話題で大いに盛り上がった。楽器の音色に与える金属組織の影響についての話題などが個人的に印象に残っている。和気あいあいとした雰囲気の中で親睦を深めることができた。

若手の会では、形式は柔軟に変化させながら、若手の会、および若手育成のための合同会合を開催していく。他大学の学生、他企業の研究者と交流し、横のつながりを広げられる良い機会になると思うので、次回の東京都立大学でも奮って参加いただきたい。また、そのほかにも若手交流の場を提供



図1 若手の会開催当日の様子



図2 若手育成の合同会合での記念写真

できる企画を考えていきたいと思っている。若手の会の活動内容に対して、ご意見・ご希望などございましたら以下の若手の会のメールアドレスまでご連絡いただきたい。皆様の声をお待ちしている。

若手の会世話人：室蘭工業大学 佐々木 大地  
株式会社UACJ 愛須 優輝  
日本軽金属株式会社 清水 裕太（文責）  
若手の会メールアドレス：keikinwakate@gmail.com